



# 八幡小だより

北九州市立八幡小学校

校長 田頭 麗宏



## しんしんと 寒さがたのし 歩みゆく 星野 立子



長い2学期もあと一カ月を残すだけとなりました。今週は暖かい日が続きましたが、次第に寒さが増してくるようです。また、感染性胃腸炎（嘔吐下痢）が流行しており、本校でも欠席する子どもがいます。健康管理にはいっそうご留意いただきたいと思います。そして、この句のように、寒さも楽しく受け止め、颯爽と背筋を伸ばして登校してくる子どもたちの姿が見られることを願っています。



さて、学校では、実り多い2学期のまとめに入っています。個人懇談会では、子どもたち一人一人の成長の価値を伝え、今年をしめくりたいと考えていますので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

### 12月4日～12月10日は人権週間です

#### — 自分を大切に思う心を 他人の大切さを認める心を —

学校では、学習時間をはじめ学校生活のあらゆる場面で、人権意識の高揚を図る指導を行っています。11月17日の「人権学習参観」では、その一端をご覧いただきました。複数の人が集まる「集団」がある以上、「人権の尊重」は不可欠ですし、場合によっては個別の指導も必要になります。

八幡小学校も、さまざまな個性をもつ子どもたちの集団です。これは、大人の集団、つまり社会と同じです。ですから子どもたちは、将来社会において「自他の人権を互いに尊重しよう」ことを、学校生活という経験を通して学んでいるのです。思いやりをもつこと、きまりを守ることもそのひとつです。

自分と比べて、異なるものや異なる考えを受け入れることに対して、私たちの気持ちにはブレーキがかかってしまいがちです。しかし、「自分の価値観以外はすべて間違っているから認めない」「異なる考えをもったり行動をしたりする人を排除する（攻撃する）」という考えは、社会生活において人権侵害・犯罪につながりかねません。

子どもたちにとって、最も顕著な人権侵害は「いじめ」と言えるでしょう。本校でも、アンケートや聞き取りを通して把握した件については早期の対応をしています。また、本年度、中央中学校と合同で「いじめをしないメッセージ」である『ブルーリボン運動』に取り組んだり、弁護士さんに講師をお願いする『いじめ防止教室』（高学年対象）を開催したりします。



学校では、個に応じた指導・支援を行いながら、学級などの集団において一人一人の子どもたちの大切さを互いに認め合えるような指導を継続していきたいと考えています。ご家庭での働きかけも大変重要です。ご理解・ご協力をお願いいたします。

### 防犯意識の徹底を

残念ながら、市内で不審者や不審車両の情報が多く入っているそうです。先日、子どもたちには全校放送で、「いかのおすし」の話をしました。

学校通信4号にも書きましたが、もしそうした情報があればすぐに**110番通報**をお願いします。1秒でも早い通報が事件を防ぐと思います。



- 知らない人について **い** **か** ない
- 知らない車に **の** らない
- 危ないときには **お** おきな声で助けを呼び
- す** ぐに逃げる
- 危ない目にあったことを **し** らせる



**一四〇周年記念講演会**  
**西田たかのりさん ありがとうのこぼれ話**  
子どもたちの大歓声に迎えられた西田さんは、取材を通して知った選手の見えない姿をお話ししてくださいました。とくに、野球選手としては小柄な甲斐選手が、それを前向きにとらえて素早い動きを身に付けるために努力した「心の強さ」のエピソードは、印象深かったです。